

和光市政を耕す たがや 市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう! VOL. **34**

たけちゃん通信



平成30年 9月定例会 議会報告

西日本豪雨災害、平成30年8月30日からの大雨により被災された方々、台風21号により被災された方々、平成30年9月6日に発生した北海道胆振地方中東部を震源とする地震により被災された方々には、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

平成30年和光市議会9月定例会（議会）が、8月30日（木）より会期23日間の日程で開会し9月23日（金）に閉会致しました。今議会には議案43号から議案62号までの20議案が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議会を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。



毎年9月定例会では、各会計決算について審議いたします。

平成29年度各会計における決算審査は、各常任委員会で、委員会に付託された議案とあわせて審査を行いました。審査の結果、一般会計歳入歳出決算をはじめ、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険医療特別会計、和光市駅北口土地区画整理事業特別会計の歳入歳出決算並びに水道事業並びに下水道事業決算を認定しました。

平成30年度和光市一般会計補正予算（第2号）歳出の主な内容

○都市農業支援（177万3千円）

都市農業支援事業補助金が本年度は団体からの申請額が例年に比べて多く、当初予算額を超えたため、増額補正されました。この補助金は、都市農業の推進を図るため、農業経営の改善に向けて取り組む農業者等の事業に補助を行うものです。

○道路整備（3,620万円）

- オリンピック・パラリンピックにおける観客輸送ルートの整備に向けて、市道406号線・2002号線の道路詳細設計業務委託を行うための増額補正がされました。
- 越戸川の地域住民から通学路の安全確保についての要望があったことから、越戸川管理用通路へ照明設備の設置と点灯式を行うため、増額補正されました。（この事業は埼玉県ふるさと創造資金を利用し行われます。補助率:1/3）

○小学校施設整備（1,597万1千円）

大阪北部地震による事故があり、和光市でブロック塀の調査を行った結果を踏まえ、緊急でブロックの部分撤去を行った箇所の本復旧工事と、改修箇所の設計業務委託を実施するため、増額補正されました。



吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)



通学路安全対策について

【質問】 民間のブロック塀に関しては国土交通省が6月に、全国の塀の所有者向けに点検のポイントを公表し、自治体を通じて安全確認を要請しました。当市の民間ブロック塀の安全確認について伺う。

【答弁】 民間のブロック塀等の安全確認については、国土交通省が作成したチェックポイントや埼玉県が作成した点検表を、ホームページや窓口にリーフレットを置いて周知を行っているところです。また、広報の8月号にも掲載してきたところです。また、教育部局と連携して、通学路や緊急輸送道路の市道を対象に沿道のブロック塀等を調査した結果、建築基準法に適合しないものが103箇所、延べ約2,800mを確認したところです。

【質問】 民間ブロック塀の改善・対策などに補助金を出す自治体が増えていますが、補助金についてのお考えを伺う。また、以前緑化推進と災害防止に役立たせるための目的で、ブロック塀の代わりに生け垣などに変更する場合の補助金がありました。現在もあるのか?また、あるのであれば、利用状況について伺います。

【答弁】 ブロック塀撤去等への補助については、早期に補助制度の創設に向けて検討しています。生け垣助成については、「和光市生け垣設置奨励補助金交付要綱」に基づき、設置に要した費用として限度額12万円、またブロック塀等を取り壊して新たに生け垣を設置する場合には4万円を限度に加算し、助成を行ってまいりました。また、申請件数の減少傾向が続いていたことに加え、平成21年に実施した事業仕分けにより、緑とはいえども、個人の財産に帰属されるものに補助金を交付して良いのか?という意見があり「不要」と判定されました。その結果を受け事業の精査を行い、平成22年度より休止としております。

【コメント】 建築基準法に適合しないものが103箇所、延べ約2,800mを確認されています。

地震はいつ起こるかわかりません。また、いつ来てもおかしくありません。塀は倒壊すれば凶器となります。子どもの安全を守るには、学校に限った対策だけでは不十分です。民間ブロック塀改善、対策に向けての補助金などを早期に実施し、子どもたちの安心・安全を確保して頂くように要望しました。また、「和光市生け垣設置奨励補助金」の復活についても検討していただくようお願い致しました。



吹上コミュニティセンター、城山地域センターについて

【質問】 吹上コミュニティセンター、城山地域センターを白子3丁目区画整理事業地内に2館を集約する計画になったと聞きました。この計画についてと、この計画が進んでいるのであればその経緯について伺う。

【答弁】 吹上コミュニティセンターが閉館に至った経緯につきましては、平成33年3月31日が借地の契約期限となるため、現在の契約の継続や敷地の買い取りについて、地権者と交渉してまいりましたが、協議が整わず、現在の場所での運営は困難となっています。

また、城山地域センターの閉館の経緯につきましては、以前に、近隣自治会からの集会所を望む声に対して、当時の地権者から土地活用の申し出をいただいたことから無償となっておりましたが、今般の相続発生に伴い、現在の場所で運営を継続するためには、来年度からの賃借料の負担が不可避となりました。このことにより、現在の維持管理コストを大きく上回る見込みであり、今後の運営には大きく影響を与えるものとなっています。

以上のことから、生活圏域が隣接する既存2館の集約を検討できる場所に土地の取得ができ、喫緊の共通課題である借地の解消が図れることから、既存2館を閉館し、新コミュニティ施設へ集約することに至りました。

【質問】 利用者の皆さんは何も知らされていないようですが、利用者、地域住民への説明は行ったのか。また、行う予定はあるのかを伺う。

【答弁】 両センターとも、地権者の意向を確認した後に、自治会や利用団体から選出されたメンバーにより、管理運営を協働で行っている各館の管理協力委員会に対し、定例委員会の場で説明を行い、市の方向性については既にご理解をいただいております。当該施設の移転につきましては、今後、然るべき時期に、施設内への掲示や近隣自治会の回覧、また、利用者団体への通知等により、周知を行ってまいります。

【質問】 城山地域センターについては、建設時の約束で、地権者の方が買い取り申請をした時には、市が買取ると言う約束で、無償で土地借用をしていたと聞いています。このことは契約書には入ってなく、口約束となっていたようです。今回地権者の方や関係者も「市の決定なので」と担当課に言われ、仕方なく応じたようです。契約時のことについて伺う。

【答弁】 当該センターの用地契約については、当時の地権者の土地活用の申出が公共の目的に合致していたために公租公課を課さないことを規定しておりますが、買い取りに関する規定はございません。そのため、既存2館を別の場所に集約するため当該センター用地を返還することについては、地権者と協議をさせていただき、その上でご理解をいただいたものと認識しております。

【コメント】 この施設の地権者は、いずれ買い取って頂くと言う約束で、それならば賃借料はいらないので無償で貸すことにしたようです。地権者としては買い取るという文言を入れて頂きたいとお願いしたところ、一度作った施設は、よほどのことがない限り買い取るから、契約書に入れなくても大丈夫だと言われたようです。地権者の方は「市の決定なので」と担当課に言われ、仕方なく応じたようですが、やはり納得はいかないようです。地権者に協力して頂くときには、良いことを言い、契約書にないからダメ、決定なのでダメと言うことは、協力頂いた方にどうかと思います。「私たちの住む地域社会を、みんなの力で住み良くしていこう」という願いを実現するためには、人々のふれあいや連帯を大切にして、生活環境の改善など地域社会の様々な分野で自主的な活動を進め、全地域的な活動へとその輪を広げていくことが必要です。和光市のコミュニティセンター及び地域センターは、このような地域の連帯を作るセンターとして、自由に集い、語り合い、学び、心のふれあいを作る場所と

して、自主的に活用していただく施設です」和光市には世代をこえて交流ができるコミュニティーづくりに必要な施設が必要です。今回の2館集約計画の見直しと、以前計画にあった9館構想を復活・実現を強く要望しました。



アーバンアクア公園一部利用開始について

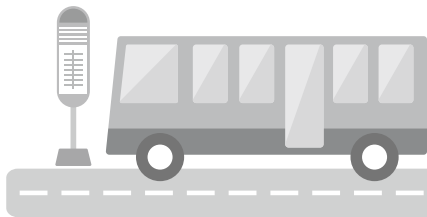
【質問】 外環自動車道新倉パーキングがベルトコンベヤー設置工事の為、9月18日から12月15日まで閉鎖となります。パーキング閉鎖期間中の対応として、新倉パーキング東側「よつば公園」に隣接する土地に代替施設を設置します。代替施設は、内・外回りの和光北 IC出口から流出し、一般道を経由して代替施設に入っていくこととなります。代替施設に入出すすべての車が松之木島交差点を通過することとなります。アーバンアクア公園へのアクセスの安全対策を伺う。

【答弁】 松ノ木島交差点の交通安全対策についてですが、公園側の歩道隅切り部にたまり空間ができるよう、工事を行いますが、それ以上の対策となると、歩道橋を設置するスペースも無いため、現状では改善は難しく、NEXCOによると、新倉PAの利用台数は、ピーク時でも300台程度/時間、5台程度/分と、それ程、多くはならないと伺っておりますので、仮設PAに入出入りする車によって、危険性が高まることはないと考えております。

【質問】 外環自動車道新河岸側（新河岸川水循環センター）より外環道をくぐるアーバンアクア公園アクセス通路を設置したらと考えます。アーバンアクア公園に来るには、交通手段が限られており、路線バスを利用する場合は、アクシス入口から徒歩になります。水道道路沿いを歩くのは大変危険であります。外環道をくぐるルートができれば松之木島地域を通り危険がかなり回避できます。また、市内循環バスも利用でき、アクシスで下車した場合は、スムーズなアクセスができます。外環道をくぐるアーバンアクア公園アクセス通路を設置できないか伺う。

【答弁】 御質問の外環東側の松ノ木島土地区画整理区域から外環道をくぐるルートについては、県の下水道局と協議を行っているところです。

【質問】 北インター区画整理地に7月にオープンした物流センターへのバスが和光市駅北口から運行されました。以前も北部郵便局の専用バスに一般市民も同乗できないかと質問しましたことがありましたが、今回も市民が利用することは出来ないと思いますが、確認のためお聞きします。利用できるのであればアーバンアクアに一番近いバス停になるとは思いますか如何か。



駅北口と北インター土地区画整理地内に立地した佐川急便の物流施設を直通で結ぶ路線バスが運行開始されました。市民の皆さんも利用できます。

【答弁】 御質問のバス路線については、駅北口と北インター土地区画整理地内に立地した佐川急便の物流施設を直通で結ぶ路線であり、本年9月1日から運行が開始されました。このバスは、東武バスが運行する通常の路線バスのため、市民も利用できます。このバス停がアーバンアクア公園に一番近いバス停となりますので、アーバンアクア公園へのアクセスをお知らせするホームページにも掲載して、周知してまいります。

【コメント】 北インター地域周辺の方にも伝えて頂ければと思います。また、直通ということでバス停はないと思います。北地域センターやじゃり場あたりにバス停が設置できれば、地域周辺の活性化につながると思います。バス停設置を要望して頂くように要望しました。また、アクシス側からの外環道をくぐるルートアンダーパス出入口も県の下水道局と協議を行っているようですが、また、年内にはパーキング代替施設も解消される予定ですが、アーバンアクア公園を利用する方の、歩行者、自転車用に対する安全対策として、外環道をくぐるルート、アンダーパス出入口を一日も早い設置を要望しました。

アーバンアクア公園全面開園に向けての今後のスケジュール

●部分供用開始は平成30年10月20日を予定しております。
(供用開始施設:野球場1面、庭球場5面、管理棟、駐車場)

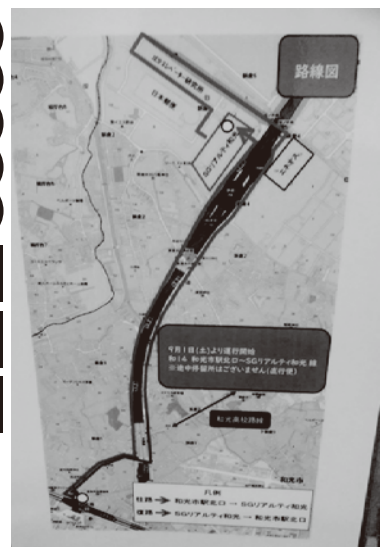
●今後の整備スケジュール

平成30年度下半期	人工芝サッカー場の整備
平成31年度	テニスコート、多目的広場の芝床、散水設備
平成32年度	多目的広場の芝生整備、周辺道路へのサイン設置

●フルオープン平成32年度を目指しております。

※フルオープンまでの整備スケジュールはあくまで目標となっています。

バスルート案内図



和光市駅北口を発車して、「いなげや」先の外環道側道を通り、北インター物流倉庫へ直通で行くルートです。駅へも側道を通るルートです。



午王山遺跡保存について

【質問】 第2回和光市文化財保護委員会の審議会が開催され、午王山遺跡保存について、文部科学大臣宛の意見具申に向けて必要な準備に入ることになりました。経緯について伺う。

【答弁】 午王山遺跡について、国の史跡指定に向けて意見具申に取り組むこととなった経緯としまして、平成30年度当初においては、市としての方向性を定めるため、和光市文化財保護委員会のご意見を伺い、「午王山遺跡史跡整備基本構想」を年度内に策定する予定でございました。平成30年2月に、埼玉県が午王山遺跡出土品を埼玉県指定有形文化財として指定したこと及び市が「5月中旬に実施した午王山遺跡の確認調査結果」を埼玉県に報告したことをきっかけとして、6月上旬に、県の現地視察があり、「文化庁への相談」を助言されました。7月末には、文化庁主任調査官の視察により、「国への意見具申相当」であることの所見をいただき、文化財保護委員会で、全会一致でご賛同をいただきました。

【コメント】 昨年の12月の一般質問において、午王山遺跡保存についての質問の答弁で、保存整備に係る費用についても、各種補助金等を活用する方策を調査・検討し、財源確保に努めてまいります。との答弁がありました。また私の要望として、午王山遺跡公園整備構想計画について、しっかりと位置づけをして、午王山遺跡を一部ではなく、全面を後世に残していくことが重要ですので、ぜひ土地の購入を考えていただきたいと要望したことが、このようなことになると思ってもよかったです。昨年土地購入できずに一部が宅地になってしまったことは残念です。国の指定を取得できれば、午王山遺跡が和光市だけでなく、日本にとって、歴史上、学術上価値が高いものと認められます。午王山遺跡公園完成には、100年かかるとも言われています。まずは「国史跡指定」取得に向けてしっかりと取り組んでいただくように要望しました。

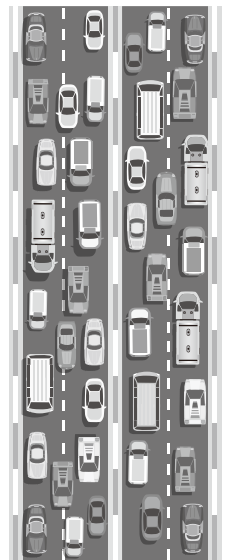


国道254号和光富士見バイパス延伸計画について

【質問】 このことについてもこれまでに何回か質問してきましたが、この地域の方には大変重要な問題となっておりますので、改めて質問させていただきます。国道254号和光富士見バイパス延伸計画について、これまでも埼玉県へ計画について説明を1日も早く開催していただくようお願いしてきました。市長も昨年10月に県知事に対して、要望して頂きましたが、一向に動きがないようですが、今まで当市がどのような働きかけを行ってきたのか、また、今後どうするのか伺う。

【答弁】 254バイパスの延伸は、和光市のみならず、バイパス沿線の自治体にとっても大変重要な課題であり、和光富士見バイパス建設の進捗状況を踏まえると、必ず早期に実現しなければならない道路であります。このため、国道254号和光川越間バイパス建設促進期成同盟会の7市町と県への要望活動を行うとともに、平成27年度からは和光市単独でも知事への要望活動を行っているところです。特に、平成29年10月に行った要望活動では、地元説明会を早期に開催していただくよう市長から直接、知事に要望したところであり、知事からは、東京都と協議中であるため、もうしばらく時間をいただきたいとのことでありました。その後、事務レベルでも県に地元説明会の開催をお願いしているところですが、県では現在、懸命に東京都と協議を重ねているところであると伺っております。このため、平成30年度も引き続き、バイパス延伸の実現と地元説明会の開催について、知事への要望活動を行ってまいります。

【コメント】 対象地域住民の皆さんは、大変不安を感じています。国道254号和光富士見バイパス延伸計画について地元説明を早くしていただくように埼玉県へお願いして頂きますようお願い致します。また、ルートについても市街地を分断することなく、下新倉小学校北側を通るルートを強く要望して頂きますようお願い致します。



質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでも遠慮なく相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会 会長 柳下 茂
 〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1
TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
<http://www.takechan-yoshida.jp>

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス